



藤本 みのる 通信

Vol 378

2021年8月24日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

富士北麓・東部地域ごみ処理広域化について

17日の議員定例懇談会で、富士北麓・東部ブロック（12市町村）ごみ広域化の進捗状況の説明がありました。12市町村が参加する事務組合は、2022年2月1日発足予定で、組合の事務所は富士吉田市に置くとされました。

小沼地区の建設地は約4ヘクタールの民有地で、中央自動車道富士吉田西桂スマートインターチェンジ出口の南側約150メートルにあり、運搬の利便性が高い。西桂町によると、施設の総事業費は224億7000万円で、1日220トンのごみを処理できる。余熱発電で施設内の電力をまかなうほか売電も行う計画だ。（毎日新聞 2020.10.30）

私は2018年9月市議会定例会の一般質問でとりあげ、当時の中津森案の問題点を指摘するとともに、広域化施設の大規模化に警鐘を鳴らしました。いったん大きな焼却施設を作ってしまうと、稼働率を高めるために、プラスチックや紙などカロリーの高い「高品質」なごみを求める施設になってしまいます。ごみの焼却率は、世界では50%以下が常識で日本の80%は突出しています。SDGs時代に求められるごみ対策について、この機会にしっかり議論し、各自治体が住民参加でごみ減量を実践していくことが必要です。

2018.3 山梨県ごみ処理広域化計画

Bブロック（郡内12市町村）

4施設→1施設へ

大月都留広域事務組合で現施設終了後の候補地を選定していたところ、郡内各市からの要請で富士北麓・東部地域の広域処理を行う施設の候補地として検討。ところが、都留市中津森地区への計画に7市町村が「費用が高すぎる」と不参加を表明して、いったん白紙に。

2019.4 富士北麓・東部地域ごみ処理広域化推進協議会（12市町村）

中津森計画については経費の縮減を精査し、新たな建設適地と比較するなど1年以内に検討する。

2020.10 西桂町小沼地区に決定

2021.4～組合設立の準備開始

2022.2 富士・東部広域環境事務組合設立（組合の事務所は富士吉田市におく）予定

2029.11 まるたの森クリーンセンター10年間使用延長の期限終了、新焼却施設稼働予定

【藤本みのる活動日誌】

8月25日(水) 議会運営委員会